

令和 2 年度予算 主要事業の概要



予算の概要

【 編成方針 】

「みんなが楽しく心豊かに暮らせるまち」の実現に向けて

令和2年度予算は、これまで進めてきた「元気であんな誇りの持てるふるさと飛騨市づくり」の政策方針のもと、総合計画に替わり新たに策定した「飛騨市総合政策指針(令和2年度～令和6年度)」が掲げる将来像「みんなが楽しく心豊かに暮らせるまち」の実現に向け、基本姿勢である「対話と協働」、「挑戦と前進」、「交流と連携」を念頭に置きつつ、指針初年度として実施すべきことが何であるかを議論の中心に据え、様々な場で寄せられた市民の皆様からのご意見や、議会でのご提案等を全てチェックし最大限取り入れ、編成を行いました。

その検討にあたっては、都竹市政2期目の最重点テーマである「あんな飛騨市づくり」を更に深掘りし、未だ施策が不十分であると思われる『**弱い立場の方の支援**』と『**暮らしの質の充実**』を重点政策として位置付け、全庁挙げて取り組んできました。

その結果、『弱い立場の方の支援』では、高齢者の外出支援や障がいのある方の生活拠点整備・社会的孤立の方の支援、ケアマネジャーを含めた介護人材確保、子育て環境の充実。『暮らしの質の充実』では、全世代の減塩に関する取り組みや高齢者の口腔ケアなどの健康づくり、全ての市民が一流の講座を受講することができる生涯学習の推進、気軽に文化・芸術・歴史に触れられる環境整備に、大幅な施策の展開を図りました。

また、これまで同様、全方位に施策を全面展開する中で、関係人口や地域資源活用など、これまで取り組んできた政策をベースに更に発展継続させるとともに、施策一つひとつを深く追求し深化を図ることで、政策全体のレベルアップを実現します。

このように、令和2年度予算は、都竹市政2期目と飛騨市総合政策指針の初年度に相応しい予算として、飛騨市に関わる全ての皆様が、それぞれ住み慣れた環境の中で心豊かに穏やかに、そして毎日の生活を楽しく暮らすことが出来るよう、努めてまいります。

【 重点政策 】

－ 「弱い立場の方の支援」 －

① いつまでも生き生きと暮らせる「**高齢者の生活支援**」

② 安心して自分らしく暮らせる「**障がいのある方の生活環境の整備**」

③ 高齢者等の安心した暮らしを支える「**介護人材の確保・育成**」

－ 「暮らしの質の充実」 －

④ 子ども達の明るい声が響く「**子育て環境の充実**」

⑤ 健康長寿100年時代を実現する「**全世代の健康づくり**」

⑥ 一流の学問や文学・芸術等に触れ「**自分を磨くことができる環境の整備**」

目次

【 政策の柱 】

あんきな飛騨市づくり -まちをつくる-

◎ 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち	1
● 最期まで住み慣れた場所で暮らせる仕組みづくり	
● 弱い立場の方も一人ひとりありのままの自分を大事にされる環境づくり	
● 必要な医療・介護を受けられる体制づくり	
● 安心して暮らせる公共サービスづくり	
◎ お互いを家族のように思い、支えあえるまち	4
● 楽しく子育てできる環境づくり	
● みんなで支えあうコミュニティと防災体制づくり	
◎ 生涯現役で自分らしく暮らせる健やかなまち	6
● 全世代の健康づくり・体力づくりの支援	
● どんな人でも自分のペースで活躍できる環境づくり	

誇りの持てる飛騨市づくり -ひとを伸ばす-

◎ 一人ひとりの頑張りを応援し互いに尊敬しあえるまち	8
● 生涯学び自分を磨くことができる環境づくり	
● 個性あるまちづくり活動の促進	
◎ 子ども達の生きる力を地域一体で育む学び豊かなまち	9
● 未知の課題に立ち向かい自ら解決することのできる子ども達を育むまちづくり	
◎ 豊かな環境と個性ある地域資源を大切にする誇り高いまち	10
● 地域・文化資源を大切にし自慢できる仕組みづくり	
● 豊かな自然と水を守り後世に引き継ぐ仕組みづくり	

元気な飛騨市づくり -しごとを守る-

◎ 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち	12
● 都市部への訴求力が高い農林畜産業づくり	
● 関係人口等との交流によるまちづくり	
● 思い出に残る観光地づくり	
◎ 変革への挑戦を続け、新しい価値を創造するたくましいまち	15
● 地域資源を活かした産業づくり	
● 新たな事業・商品・サービスを創造する事業者の応援	
● 自ら起業する人の支援と仕事づくり	
◎ 誰もが働きやすく、活躍できる元気なまち	16
● 多様な人材が活躍する産業の支援	
● 少人数でも持続可能な産業の支援	

【 資料説明 】

		事業の主な概要	予算額
新規	新年度から新たにスタートする事業	新規 買い物のための送迎を自商店で行う民間事業者への支援	
改革	今年度までの事業内容を改め改善させた事業	自らの商店利用や施設利用の送迎の際にスーパー等で	120 千円
拡充	今年度までの事業内容を拡張・充実させた事業	買い物するなど、送迎を行う商店や施設等に対し、そ	地域包括ケア課
継続	今年度までの事業内容を引き続き継続させる事業	の送迎にかかる費用の一部を助成します。	(概要書1P)
		事業の内容	概要書の掲載ページ

令和2年度予算 主要事業の概要

あんき

あんきな飛驒市をつくる

誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち

最期まで住み慣れた場所で暮らせる仕組みづくり

最後まで自分が生まれ育った家で安心して暮らすことができるよう、様々な生活支援の充実を推進するとともに、亡くなられた方の遺族の不安軽減を支援します。

① いつまでも生き生きと暮らせる「高齢者の生活支援」

高齢者の生活支援と見守り体制強化の推進

新規 買い物のための送迎を自商店で行う民間事業者への支援		
自らの商店利用や施設利用の送迎の際にスーパー等で買い物するなど、送迎を行う商店や施設等に対し、その送迎にかかる費用の一部を助成します。	120 千円 地域包括ケア課 (概要書1P)	
新規 自動車急発進等抑制装置取付の助成		
高齢者の交通事故抑制のため、アクセルとブレーキのふみ間違いを防止する急発進抑制装置の取り付け費用等の一部を助成します。	1,500 千円 地域包括ケア課 (概要書2P)	
新規 補聴器購入の助成		
サロン等の高齢者の集まりの場への参加や、外出時の車の往来等に対する高齢者の安全な外出を支援するため、補聴器の購入費用の一部を助成します。	280 千円 地域包括ケア課 (概要書2P)	
新規 介護をされている世帯へのおむつ用ごみ袋の支援		
ケアマネージャーにより常時おむつが必要と判断される方を在宅介護される世帯を対象に、おむつを処分するためのごみ袋を年間100袋進呈します。 (予算額は「子育て・介護世帯等に対するおむつ用ごみ袋の支援事業」の総額です)	(954 千円) 環境課 (概要書3P)	
新規 山之村地区での介護予防サービスの実施		
山之村診療所を活用して、生きがい通所サービスや訪問型サービス等の準介護サービスの試験運用を行い、通所介護の運営や入浴サービス等の対応を検証します。	720 千円 地域包括ケア課 (概要書4P)	
新規 リハビリ専門職による住宅改修支援の推進		
理学療法士、作業療法士等のリハビリ専門職の専門的視点による住宅改修方法の助言や書類等の作成支援等を行った事業所への助成事業を創設します。	70 千円 地域包括ケア課 (概要書5P)	

新規 割石温泉を活用した共生型福祉拠点整備の検討	
子どもの利用者が増加している割石温泉を活用し、子どもや高齢者、障がいのある方などが気軽に触れ合い、様々な交流を行うことができる環境づくりを検討します。	96 千円 地域包括ケア課 (概要書6P)

残された遺族を支える終活支援体制強化の推進

拡充 飛驒市終活支援センターの運営と各種セミナーの開催	
飛驒市終活支援センターの終活アドバイザーを増員し、各種相談やセミナー等を継続するとともに、飛驒市版エンディングノートの作成に取り組みます。	2,800 千円 地域包括ケア課 —

老人福祉センター割石温泉の年代別利用者数の推移

割石温泉利用者は、昭和61年度の13万8千人余りをピークに減少傾向ですが、中学生以下については、微増で推移しています。
今後は、温泉を核としつつ、多世代が交流できる共生型の福祉拠点として活用を検討していきます。

年代	65歳以上	中学生～64歳	小学生	未就学児	合計
H26	39,290	24,623	1,068	917	65,898
H27	33,232	20,827	705	1,094	55,750
H28	33,232	20,827	705	1,094	55,750
H29	33,232	20,827	705	1,094	55,750
H30	33,232	20,827	705	1,094	55,750

弱い立場の方も一人ひとりありのままの自分を大事にされる環境づくり

弱い立場の方、障がいのある方、ひとり親家庭、生きづらさを抱える方たちも、それぞれの居場所・ペースで安心して就労・社会参加ができる環境を整備するとともに、安心して過ごすことができる居場所づくり、生涯安心して暮らせる環境整備を推進します。

② 安心して自分らしく暮らせる「障がいのある方の生活環境の整備」

障がいのある方の生活環境整備と雇用拡大の推進

新規 障がいのある方を支える世帯へのおむつ用ごみ袋の支援		
日常生活用具給付事業で紙おむつの支援を受けられている障がいのある方を支える世帯に対し、おむつを処分するためのごみ袋を年間100袋進呈します。 (予算額は「子育て・介護世帯等に対するおむつ用ごみ袋の支援事業」の総額です)	(954 千円) 環境課 (概要書3P)	
拡充 障がい者日常生活用具給付等の支援		
利用者の声や近隣市村・他市の先進事例を参考に、給付品目の基準額や対象者を拡充し、より良い日常生活を送れるよう支援の強化を図ります。	9,705 千円 障がい福祉課 (概要書7P)	

② 安心して自分らしく暮らせる「障がいのある方の生活環境の整備」

多機能型障がい者支援施設の整備

神岡町山田地内に、障がいのある方が日中安心して過ごし働くことができ、合わせて地域との交流を進めるためのふれあいスペースを確保した施設を整備しています。

- 建設工事 令和2年12月竣工
- 開設 令和3年4月
- 予算 令和元年度当初予算182,071千円を令和2年度に繰り越し



複合児童福祉施設の開設

平成29年度から神岡町殿地内に整備を進めてきました「複合児童福祉施設」が、令和2年4月1日にいよいよオープンいたします。

この施設は、放課後等デイサービス「なかよしキッズ」（管理運営：飛騨市社会福祉協議会）と児童発達支援事業所「神岡ことばの教室」（管理運営：飛騨市）を合築した児童福祉の拠点となる新たな施設です。

【複合児童福祉施設の概要】

- 構 造：木造2階建一部鉄骨造平屋建
- 延べ床面積：805.93㎡
- 完成内覧会：令和2年3月8日（日）10時～15時



拡充 障がい児者支援事業所の参入促進

市内における多様な障がい児者支援事業所の参入促進を目的とした助成制度について、これまでの送迎車両に加え、訪問車両も助成対象とします。

4,992 千円	障がい福祉課
(概要書8P)	

拡充 衣類の定期回収を活用した障がい者就労支援

市役所等における衣類の定期回収の際に、障がい者支援事業所と連携して受付事務等を手伝っていただくなど、障がいのある方の就労を支援します。

351 千円	環境課
(概要書9P)	

新規 各振興事務所での遠隔手話通訳による相談支援

ハートピア（設置通訳者）と、各振興事務所（聴覚障がい者と職員）との間で、ICTを使った手話によるコミュニケーションを行う環境を整備します。

132 千円	障がい福祉課
(概要書10P)	

拡充 発達支援における専門多職種の関与・連携の強化

これまでの療法士派遣による人員体制について、日程・人員数・職種を拡充し、「きやっち」だけでなく各種支援関係者、支援機関や本人まで支援対象を拡充します。

8,500 千円	障がい福祉課
(概要書11P)	

新規 （仮称）飛騨市基幹相談支援センターの開設準備

途切れなく生涯一貫した支援体制により、障がいのある方のみならず家族全体を支える「飛騨市基幹相談支援センター」を設置するための準備を行います。

0 千円	障がい福祉課
(概要書12P)	

新規 第2期生涯安心計画・生涯安心こども計画の策定

障がいのある方が自らの望む地域生活を営むことができるよう、障がい児者のサービスに係る提供体制の計画的な構築を推進するため、計画を策定します。

387 千円	障がい福祉課
(概要書13P)	

障がい者グループホーム等複合施設の整備

現在の和光園をリノベーションし、障がいのある方々が自分らしく安心して暮らせるグループホームを新たに整備します。

- 詳細設計 令和2年3月完了
- (令和2年議会において補正予算を上程予定)

弱い立場の方や暮らしに困難を抱える方への支援の拡大

新規 社会的孤立の方の支援者ネットワーク体制の強化

多職種・多機関による支援連携ネットワーク「地域支援会議」を立ち上げ、実践ケースを通じた助言や考え方などを学び、支援者のスキル向上を図る体制を構築します。

104 千円	地域包括ケア課
(概要書14P)	

新規 学びたい意欲がある生徒への学習支援体制の強化

教員免許を持った個別支援型スタディーサポーターを各中学校に配置し、学ぶ意欲がありながら何らかの理由により支援が必要な生徒の支援体制を強化します。

5,781 千円	学校教育課
(概要書15P)	

継続 小中のつなぎ連携による不登校児等への支援

小学校から中学校への円滑な接続のために、小中学校の交流を増やすとともに、小中学校の職員による情報交換会を定期的に実施します。

224 千円	学校教育課
(概要書16P)	

拡充 ひとり親家庭を対象とした賃貸住宅家賃支援の拡大

民間賃貸住宅に新たに入居されたひとり親家庭の家賃の一部を支援していましたが、既に入居されてみえる世帯にも対象を拡大し、生活の質の向上を図ります。

600 千円	都市整備課
(概要書17P)	

養護老人ホーム和光園の新設移転

平成29年度から建設を進めてきた和光園が、このたび完成し、令和2年4月1日より新施設へ移動することとなりました。これにより、居室の個室化、冷房設備の整備によりこれまで不十分であった入所者の健康面やプライバシーにより配慮して養護できる体制が整いました。

【養護老人ホーム和光園の概要】

- 構 造：RC造4階建、入所定員：50名
- 完成内覧会：令和2年3月14日（土）12時～15時



拡充 ひとり親家庭等応援講座の受講しやすい体制づくり

パソコン講座の日程や時間が合わず、受講したくても出れないとの声があったことから、個人のニーズに合わせ自分に合ったプランで受講ができるよう体制を整備します。

582 千円	子育て応援課
(概要書18P)	

必要な医療・介護を受けられる体制づくり

医療・介護の喫緊の課題である人材不足について、外国人の活用も含め全力で取り組みます。また、飛騨市全域を地域包括ケアが学べる最適な実習フィールドとして整備し、研修医や医療・介護専門職に訴求するなど、全国一の支援体制構築を推進します。

③ 高齢者等の安心した暮らしを支える「介護人材の確保・育成」

医療・介護職等の人材確保や医療機関等の診療体制整備の推進

新規 要支援者のケアプラン作成を受託しやすい環境の整備	
一定数以上の要支援者ケアプラン作成を受託する居宅介護支援事業所への支援制度を創設するとともに、遠隔地でのプラン作成にかかる移動コストを支援します。	1,890 千円 地域包括ケア課 (概要書19P)

新規 介護保険ケアマネージャーの資格取得・更新の支援	
ケアマネ資格の有効期限が切れた方の資格再取得や、現役ケアマネの資格更新にかかる費用の一部を支援するとともに、試験を受験される方もあわせて支援します。	140 千円 地域包括ケア課 (概要書19P)

改革 特養夜勤者処遇改善臨時交付金の対象施設拡充	
夜勤1回1名あたりの特定処遇改善状況に応じて夜勤手当の増額財源として支援するとともに、対象施設についてグループホーム等も追加するなど拡充します。	(13,711 千円) 地域包括ケア課 (概要書21P)
(予算額は「飛騨市医療・介護・福祉人材確保対策事業」の総額です)	

新規 帰郷意向の介護福祉士養成校在学者の生活支援	
介護福祉士の資格取得を目指し、市外の大学や専門学校等で就学中の学生の就学期間中のアパート代等家賃の一部を補助します。	720 千円 地域包括ケア課 (概要書28P)

新規 留学して介護福祉士資格を取得する外国人の受入支援	
サンビレッジ医療国際福祉専門学校に留学して介護福祉士資格を取得し、市内事業所への就業、又は就業意向のある外国人留学生に、家賃等を支援します。	720 千円 地域包括ケア課 (概要書29P)

新規 外国人への日本語学習等を行う法人への支援	
介護は、高い日本語能力を求められることから、現場入りしてから日本語能力を育成することができる特養施設等の体制づくりを支援します。	160 千円 地域包括ケア課 (概要書29P)

拡充 訪問診療体制の整備支援の拡大	
在宅療養体制整備推進事業補助金に、訪問診療医が訪問診療に使用する車両の購入経費の支援等を追加し、円滑な在宅療養体制の構築を図ります。	800 千円 地域包括ケア課 (概要書30P)

継続 里山ナース院内認定制度による看護師の育成	
市独自の看護師育成プログラムの2年目として、次段階のプログラムを展開するほか、里山ナースのキャラクターを使ったノベルティグッズを活用した採用活動を推進します。	2,000 千円 病院管理室 (概要書32P)

新規 市内事業所におけるケアマネージャーの新規増員支援	
ケアマネを新規増員した際に個人・事業所ともに奨励金を交付するほか、増員に伴い発生するPC購入やシステム導入にかかる費用の一部を支援します。	670 千円 地域包括ケア課 (概要書19P)

新規 介護専門人材に特化した婚活の支援	
社会福祉法人や全国的な結婚ネットワークを持つ民間業者と連携し、マッチング対象を医療介護人材とした婚活イベントを実施します。	300 千円 地域包括ケア課 (概要書20P)

拡充 サンビレッジ国際医療福祉専門学校生の修学支援	
地元就職意向を持ってサンビレッジ国際医療福祉専門学校に進学する市内高校在校生に加え、市内在住高校生に対し、特別修学資金を支給します。	(13,711 千円) 地域包括ケア課 (概要書21P)
(予算額は「飛騨市医療・介護・福祉人材確保対策事業」の総額です)	



継続 看護人材確保のための学生研修フィールドの提供	
看護大学生1グループ（学生5名、指導者1名程度）の地域実習として1週間程度の受入れを実施し、受入に要する交通費等について支援します。	500 千円 病院管理室 (概要書31P)

市外医療機関との連携の推進



新規 J A 岐阜厚生連看護専門学校の支援	
地域の看護師確保のため必要な施設であり、飛騨地域内で唯一の看護師養成施設であるJA岐阜厚生連看護専門学校の施設整備を2市1村で支援します。	382 千円 地域包括ケア課 (概要書33P)

継続 富山大学と連携した健康づくり中核人材の養成	
富山大学附属病院の支援により平成29年度から実施している健康づくりマイスター養成講座について、引き続き神岡町で実施し、中核的人材の養成を図ります。	1,500 千円 地域包括ケア課 —

安心して暮らせる公共サービスづくり

水道・道路・公共交通・除雪・ゴミ処理など、必要な生活サービスを安定的に提供するとともに、施設の休止・廃止・統合等による質と量の最適化を実施し、暮らしに必要な公共サービスを維持できるよう計画的な取り組みを推進します。

暮らしに必要な公共サービスの維持と人材確保の推進

拡充 新公共交通網計画に沿った路線バス等の運行

市民意見や実情を踏まえ、新たな公共交通計画を策定するとともに、令和2年10月から経路やダイヤ等を見直し運行します。また、新たに回数券を導入します。	166,824 千円 総務課 (概要書34P)
---	-------------------------------

継続 上水道施設の整備

施設の劣化程度や財政の状況、市民の利便性の向上等も踏まえながら、老朽管路の更新、設備の機能回復など効率的・計画的な資産管理に取り組みます。	73,837 千円 水道課 (概要書36P)
---	------------------------------

継続 生活を支える道路・橋梁などの基盤整備

市民生活を支える道路の改良・補修、交通安全・防災対策や老朽化した橋の補修を行うとともに、急傾斜地対策など、各種基盤整備を推進します。	514,700 千円 建設課 (概要書38～40P)
--	----------------------------------

新規 「広報ひだまち特派員」等による情報発信力の強化

市民目線で自ら取材し、写真撮影、記事作成をする市民記者や広報をチェックするモニターを市民から募集し、市民協働での市全体の効果的な情報発信を図ります。	2,027 千円 秘書広報課 (概要書42P)
--	-------------------------------

新規 飛騨市都市計画マスタープランの改定

市における都市の現況分析・評価・将来値の推計、用途地域見直しの検討、全体構想、都市整備の方針を取りまとめ、報告書及び概要版の作成等を行います。	10,700 千円 都市整備課 (概要書44P)
---	--------------------------------

新規 し尿処理施設の統廃合を見据えた調査設計

老朽化が著しい北吉城クリーンセンターをみずほクリーンセンターに統合するにあたり、中継所として活用するための調査設計を行います。	9,900 千円 環境課 (概要書35P)
---	-----------------------------

新規 下水道重要幹線等の耐震化

古川処理区及び船津処理区の重要幹線約5kmを対象として耐震化（管口可とう管化）実施設計を行い、令和3年度以降に耐震化工事を順次実施します。	12,920 千円 水道課 (概要書37P)
---	------------------------------

継続 市道等の安定的な除雪

除雪機械や消融雪施設、凍結防止剤の散布等による道路除雪を行うとともに、除雪機械の計画的な更新や消雪施設の維持補修を行います。	408,830 千円 建設課 (概要書41P)
--	-------------------------------

新規 タブレット端末の導入による市議会のペーパーレス化

令和2年9月議会を目標に、タブレット端末の導入による議会のペーパーレス化を行い、事務の効率化とコスト低減、省資源化を図ります。	5,744 千円 議会事務局・総務課・管財課 (概要書43P)
---	---------------------------------------

安心して暮らせる環境整備の推進

拡充 住宅性能向上リフォーム補助制度の対象拡充

市内に居住している個人住宅における、省エネや安全性など住宅性能の向上を図るリフォームの支援に加え、新たに非常時の停電対策を支援対象に追加します。	40,000 千円 都市整備課 (概要書45P)
--	--------------------------------

継続 高齢者や障がいのある方、子育て世代に配慮したトイレの整備

トイレの洋式化等を最重点課題と位置付け、坂下生活改善センター、角川体育館、サン・スポーツランドふるかわ、藤波八丁遊歩道のトイレ洋式化を実施します。	5,700 千円 建設課・生涯学習課・スポーツ振興課 —
---	------------------------------------

お互いを家族のように思い、支えあえるまち

楽しく子育てできる環境づくり

ベビーシートや授乳室、子ども達の遊び場、居場所等、子どもを連れて出かけたい環境の整備と、子育て世代の経済負担の軽減を図ります。また、出産前後や子育て期の保護者の不安を取り除く相談支援体制を強化し、地域全体で安心して楽しく子育てができる環境整備を推進します。

④ 子ども達の明るい声が響く「子育て環境の充実」

子育て環境充実の推進

新規 天候を気にせず遊べる場の整備

ハートピアの多目的ホールを平日に加えて土・祝日も開放し、予約不要で天候を気にせず誰でも気軽に遊ぶことのできる環境を整備します。	605 千円 子育て応援課 (概要書46P)
---	------------------------------

拡充 高齢者や障がいのある方、子育て世代に配慮した都市公園の整備

誰もが気兼ねなく利用できるように、坂巻公園、杉崎公園、千代の松原公園のトイレの洋式化や多目的トイレの増築、段差の解消などを行います。	34,000 千円 都市整備課 (概要書47P)
--	--------------------------------

④ 子ども達の明るい声が響く「子育て環境の充実」

継続 坂巻公園の遊具等の更新	
市民に安心して公園を利用してもらうために、劣化や損傷が著しい坂巻公園の遊具や東屋、野球場施設の一部などの更新を行います。	30,900 千円 都市整備課 (概要書48P)

産前産後の支援体制強化の推進

新規 神岡地区でのおでかけママサロンの実施	
神岡町子育て支援センターへ助産師を派遣し、妊婦及び1歳未満の子を持つ母親への相談などの支援を行う「おでかけまるん」を開始します。	766 千円 市民保健課 (概要書49P)

新規 赤ちゃん防災士による防災意識の啓発	
地域の助産師会と連携し、防災士資格を持った助産師によりお母さんと乳幼児のための防災研修等を行うほか、赤ちゃん防災パンフレットを作成し配布します。	400 千円 市民保健課 (概要書50P)

拡充 ロタウイルスワクチン接種費用の助成拡大	
これまで任意接種であったロタウイルスワクチンの接種費用1/2助成を、国の法改正の影響から助成額を拡大し、同年代による費用負担差の解消を図ります。	(9,919 千円) 市民保健課 (概要書51P) (予算額は「任意予防接種の助成拡大事業」の総額です)



子育て負担軽減の推進

新規 高校生世代への医療費助成	
中学校卒業後の18歳到達後最初の3月31日までの高校生世代の方に対し、医療機関等での保険診療にかかる一部負担金を助成します。	5,200 千円 市民保健課 (概要書52P)

新規 子育て世帯へのおむつ用ごみ袋の支援	
おむつが必要な乳幼児を養育する世帯に対し、保健師による新生児訪問時等のタイミングで、おむつを処分するためのごみ袋を年間100袋進呈します。	(954 千円) 環境課 (概要書3P) (予算額は「子育て・介護世帯等に対するおむつ用ごみ袋の支援事業」の総額です)

拡充 高校生世代へのインフルエンザ予防接種の助成拡大	
近年のインフルエンザの流行を踏まえ、インフルエンザ予防接種の助成について、対象年齢をこれまでの中学3年生までから高校3年生相当までに拡大します。	(9,919 千円) 市民保健課 (概要書51P) (予算額は「任意予防接種の助成拡大事業」の総額です)

拡充 育英基金貸付生地元就職補助金の制度拡充	
対象となる学校種別の拡充を行うとともに、成績基準にとらわれないチャレンジ枠を設け、意欲をもって勉学に励み、就業に向かえる環境を整えます。	0 千円 教育総務課 (概要書53P)

みんなで支えあうコミュニティと防災体制づくり

コミュニティの維持が自主防災組織の育成と支援体制の強化につながることから、交流できる場の創出など様々な工夫によりコミュニティの形成を図る市民の取り組みを促進するとともに、自治組織の組織化や体制維持を支援します。

コミュニティの強化と持続可能な体制整備の推進

拡充 集落有施設のバリアフリー等整備の支援	
持続可能なコミュニティと防災体制強化のため、各地区が所有する公民館等のトイレ洋式化やバリアフリー化、冷房設備の設置等にかかる経費の一部を支援します。	2,500 千円 生涯学習課 (概要書54P)

新規 集落有施設のイス等の備品購入の支援	
持続可能なコミュニティ強化と防災体制づくりのため、各地区が所有する公民館等のテーブルやイスの更新等にかかる経費の一部を支援します。	500 千円 生涯学習課 (概要書54P)

地域防災力強化の推進

新規 専門講習による防災士のフォローアップ研修の実施	
防災士資格保有者のフォローアップとして「受援」や「気象」など分野に特化した研修を行い、専門分野での防災知識・技能の向上を図ります。	450 千円 危機管理課 (概要書55P)

新規 電気自動車等による災害時給電支援体制の整備	
市民の電気自動車等の購入を支援し、避難所等が停電した際には、可能な範囲で市民の電気自動車等からの電力供給に協力いただく仕組みを構築します。	500 千円 危機管理課 (概要書56P)

新規 各庁舎の非常用電源設備の整備	
災害等による停電時に、災害対策本部等の機能を継続運営することができる電力を供給するため、自家発電機を本庁舎、宮川・神岡振興事務所に新設します。	123,200 千円 管財課 (概要書57P)

新規 避難所用マンホールトイレシステムの整備	
被災時における避難場所のトイレ不足対策として、市内10箇所（古川5、神岡5）にマンホールトイレシステムを整備するための詳細設計を行います。	11,340 千円 水道課 (概要書58P)

拡充 福祉避難所等の防災備蓄品の整備

福祉避難所となる施設 5 か所に担架、エアベット、エアマット、パーテーション等を整備するとともに、市内 2 高校に保管用コンテナを整備します。

8,300 千円
危機管理課
(概要書59P)

新規 消防団強化のための団員処遇改善

働く世代の減少を見据えた消防団組織の強化のため、消防団の出動手当を増額し、処遇改善による団員のモチベーション維持を図ります。

11,000 千円
消防本部
(概要書61P)

拡充 消防団活動車両や資機材等の充実

古川方面隊、河合方面隊の積載車を更新し、神岡方面隊のポンプ車 1 台を積載車に変更し更新するほか、水幕ホース、防火衣、救助資機材等を配備します。

45,672 千円
消防本部
(概要書61P)

新規 打保ストア閉鎖後の防災備蓄倉庫としての活用

飛騨まんが王国敷地に設置している保管用コンテナの内容品を打保ストア閉鎖後の建物内で保管するとともに、保管用コンテナを宮川振興事務所に移設します。

182 千円
危機管理課
(概要書60P)

新規 女性消防団員の確保と活躍の場の創出

女性消防団員確保のため、お試し入団制度を創設し、行事の見学や全国女性消防団活性化大会に参加することで、理解と興味を深めてもらい入団につなげます。

1,626 千円
消防本部
(概要書61P)

拡充 防犯カメラの追加設置及び市内団体等への助成

新たに市内 2 か所に防犯カメラを増設し、犯罪発生 of 抑止及び早期解決を図るとともに、引き続き防犯カメラ設置費用の支援を行います。

4,800 千円
危機管理課
(概要書62P)

生涯現役で自分らしく暮らせる健やかなまち

全世代の健康づくり・体力づくりの支援

生活習慣病予防のための生活習慣改善に向けた保健事業の充実を図るとともに、ウォーキングを始めとした運動やスポーツに気軽にチャレンジできる環境づくりを推進します。あわせて、高齢者の体力維持のための運動・リハビリにも力を入れることで、健康寿命の延伸を推進します。

⑤ 健康長寿100年時代を実現する「全世代の健康づくり」

生活習慣改善の推進

新規 市民の減塩意識の啓発

「始めよう！まめでとくする減塩生活」を合言葉に、減塩フォーラムや減塩食品試食会の開催、茂住青邨氏の書「減塩」ロゴによる啓発グッズの配布を行います。

719 千円
市民保健課
(概要書63P)

新規 減塩に取り組む市民の応援

減塩に取り組む市民を「まめでとく減塩がんばりす」とに認定し応援するほか、「まめでとく減塩ファミリーモニター」を募集し血圧データを提供いただき、今後の政策に活用します。

92 千円
市民保健課
(概要書63P)

新規 減塩推進店舗の拡大

減塩食品や減塩調味料等の減塩コーナーを設置する「まめでとく減塩協力店」に対し助成金を交付するほか、協力店マップを作成し減塩商品の活用を促進します。

889 千円
市民保健課
(概要書63P)

拡充 歯周病検診の受診促進

口腔ケアの充実を図るために対象年齢を拡大するほか、飛騨市民が高山市の歯科医院でも検診が受けられるよう、受診しやすい体制を整えます。

1,350 千円
市民保健課
(概要書64P)

尿中塩分量の検証結果（平成30年度）

飛騨市では、3 歳児から中高生、若者、壮年期の尿中塩分を測定した結果、いずれの年代も日本人の食事摂取基準の目標値よりも塩分を摂りすぎている方の割合が多いことが明らかになり、重症化予防への早急な対策が必要となっています。

このことから、「始めよう！まめでとくする減塩生活」を合言葉に、市民参加による全市的な減塩キャンペーンを実施します。

年代	尿中塩分目標値	目標値以上の方の割合	
		男	女
3歳児	男児3g、女児3.5g未満	69%	
保育園児	男児5g、女児5.5g未満	72%	
中3健診（15歳）	男性8g、女性7g未満	45%	68%
フレッシュ健診（16～19歳）		69%	78%
若者健診（20～39歳）		56%	70%
特定健診（40～74歳）		76%	85%

出典：飛騨市役所市民保健課

拡充 国民健康保険人間ドック費用の助成拡大

現行の飛騨市内の医療機関の他に、市外医療機関での人間ドック受診費用を助成対象として拡充し、さらなる加入者の健康増進とサービス向上を図ります。

1,600 千円
市民保健課
(概要書65P)

高齢者のリハビリ等軽運動と生きがいの推進

新規 介護プランへの口腔ケア導入促進

口腔ケアを積極的にケアプランに位置づける民間居宅介護支援事業所に補助金を交付し、口腔ケアの必要なへ歯科受診を経て歯科と連携する仕組みを作ります。

420 千円
地域包括ケア課
(概要書66P)

新規 高齢者の通いの場での口腔ケア指導の実施

健診、介護等のデータを活用し、地域と個人の健康課題の整理や分析を行い、地域の高齢者の通いの場に向き、歯科衛生士による口腔ケア相談等を行います。

280 千円
市民保健課
(概要書66P)

新規 後期高齢者への保健事業の実施

後期高齢者医療制度移行後も継続して個別訪問等を実施し、健康教育・健康相談などの保健事業を行うことで、疾病・生活全般の相談支援を行います。

40 千円
市民保健課
(概要書67P)

新規 シルバーリハビリ体操指導士の養成

高齢者等に必要なリハビリのエッセンスを伝達・普及する「シルバーリハビリ体操指導士」を養成する講座を、県理学療法士協会と連携して開催します。

1,096 千円
地域包括ケア課
(概要書68P)

スポーツを通した健康増進の推進

拡充 ノルディックウォーキングの普及推進

飛騨市ノルディックウォーキングフェスタの開催や、妊婦を対象とした健康ウォーキングの実施等、更なる市民への普及を図るとともに、指導員の発掘・養成を行います。	494 千円 スポーツ振興課 (概要書69P)
---	-------------------------------

拡充 ねんりんピック岐阜2020の開催（サッカー競技）

競技会場において飛騨市産の食材を使った鍋をふるまうなど市の特色を生かしたおもてなしを行うとともに、土産・飲食店や観光スポットなどをPRします。	14,786 千円 スポーツ振興課 (概要書71P)
---	----------------------------------

継続 古川トレーニングセンターのリニューアルに向けた改修

飛騨市スポーツ施設整備計画に基づき、古川トレーニングセンター 2 階のトイレ等を改修するとともに、アリーナ等のリニューアルのための設計を実施します。	36,000 千円 スポーツ振興課 (概要書72P)
--	----------------------------------

継続 屋内運動場の整備に向けた既存施設の解体設計

飛騨市屋内運動場の新築のため、森林公園内既存施設（管理棟・宿泊棟・テニスコート場）の令和 3 年度解体のための設計を行います。	1,173 千円 スポーツ振興課 (概要書72P)
---	---------------------------------

拡充 クアオルト健康ウォーキングの普及推進

飛騨市健康ウォーキングガイド協会の認定コースを開発し、ウォーキングイベントを実施するとともに、専用WEBサイトを新設し、広く参加者層の拡大を図ります。	3,467 千円 スポーツ振興課 (概要書70P)
---	---------------------------------



どんな人でも自分のペースで活躍できる環境づくり

性別や年齢、国籍や障がいの有無などに関わらず、誰もが楽しく交流・連携できる居場所づくりと、高齢者や障がいのある方が自分のペースで社会に参画し、無理なく活躍することで生きがいと活力を見出せる環境づくりを推進します。

誰もが活躍できる仕組みづくりの推進

新規 飛騨市長杯大会等への支援

技能の向上や融和の場の拡充につなげるため、教育・学術・スポーツ・文化などにおける「市長杯」のカップ、トロフィーの提供や賞状交付の助成を行います。	65 千円 秘書広報課 (概要書73P)
--	----------------------------

一人ひとりの頑張りを応援し互いに尊敬しあえるまち

生涯学び自分を磨くことができる環境づくり

どんな世代でも、楽しく学び、自分を磨きながら様々な人と交流することで新たな仲間づくりができる場を整備します。また、市民が気軽に文学や音楽、芸術などに触れる機会を増やすことで、新たなまちづくりが生まれるきっかけづくりを促進します。

⑥ 一流の学問や文学・芸術等に触れ「自分を磨くことができる環境の整備」

生涯にわたって学べる環境整備の推進

新規 飛騨市市民大学のプレ開校

2,499 千円 生涯学習課 (概要書74P)

これまで飛騨市ではなかなか学ぶ機会がなかった、著名人や大学教授などの一流講師陣による講座を開講するとともに、飛騨・世界生活文化センターが主催している「オープンカレッジin飛騨」の誘致、また、これまでの公民館講座を「学部」として体系立て、全世代が楽しく学ぶことができる仕組み「飛騨市市民大学」を構築します。

令和2年度はプレ開校とし、著名な講師によるプレオープン記念講座や、本格実施に向けた校章デザインや修了式企画などのワークショップを実施するとともに、学生証の配布や修了証書の授与等、一般的な大学を模した要素を検討し、地域一体となって、生涯学べる機会創出を図ります。

大学理念 生涯学び自分を磨くことができる環境づくり



生活学部	食事や健康、防災などを学びます ✓ 健康まちづくりマイスター養成講座 ✓ 飛騨の食卓学 ✓ 防災士養成講座
薬学部	薬草の活用や調理などを学びます ✓ 薬草コンシェルジュ養成講座 ✓ 薬草フィールドワーク
文芸学部	文学や歴史、科学などを学びます ✓ 読書感想文書き方講座 ✓ 宇宙まるかじり講座 ✓ 山城の歴史
政治学部	市政の様々な分野を学びます ✓ 市政ゼミナール

※あくまでも一例です



新

一流講師陣による
特別講義を開講

新規 電子書籍の試験運用

飛騨市図書館内に電子書籍用のタブレット2台を試験的に導入しニーズ等を調査するなど、今後の活用に向けた検証を行います。

30 千円

文化振興課
(概要書75P)

拡充 荒垣秀雄顕彰としての文学教室等の開催

引き続き「作文コンクール」を開催するとともに、現代人の活字離れが叫ばれる中、文章を書いて表現する面白さや楽しさを実感する講座を開催します。

180 千円

文化振興課
(概要書76P)

趣味を楽しむ文化芸術に触れる環境整備の推進

新規 飛騨河合音楽コンクール受賞記念巡回リサイタルの開催

飛騨河合音楽コンクールの魅力アップのため、コンクール受賞者の記念リサイタルを飛騨市文化交流センター小ホールと河合小学校で開催します。

430 千円

河合振興事務所
(概要書77P)

拡充 飛騨河合音楽コンクールによる若手演奏家の育成

一流演奏家への登竜門となるようなコンクールを目指し、審査体制の強化を図るとともに、賞金を増額し若手演奏家の育成を支援します。

1,170 千円

河合振興事務所
(概要書77P)

拡充 真夏の夜のコンサート20周年記念イベントの開催

例年開催している「真夏の夜のコンサート」の20周年を記念し、飛騨市文化交流センターホワイエにおいて、演奏者22名による特別演奏会を開催します。

2,600 千円

河合振興事務所
(概要書77P)

新規 飛騨市文化交流センター15周年記念祝賀イベントの開催

開館15周年を記念し、スピリットガーデンホールの名の由来となった作曲家故武満徹氏にちなんだ東京フィルハーモニー交響楽団による公演やトークショー等を開催します。

3,000 千円

文化振興課
(概要書78P)

飛騨市美術館のリニューアル

令和元年度から収蔵庫や空調などの課題解決に向けたリニューアルに着手し、コンセプト設計を実施してきました。現在の進捗状況と今後の予定についてお知らせいたします。



- 基本設計
令和2年3月完了
- 詳細設計
令和3年1月完了
(令和2年議会において補正予算を上程予定)
- 建設工事
令和4年3月竣工
- オープン
令和4年4月

新規 飛騨みやがわ考古民俗館での全国サミットの開催

全国から小規模博物館関係者や歴史ファンが参加するサミットを誘致し、当館の魅力PRと合わせ課題等をディスカッションし今後の活用に繋がります。

150 千円

文化振興課
(概要書79P)

個性あるまちづくり活動の促進

それぞれのまちづくり活動同士を広く周知し、お互いのまちづくり活動を知り、交流できる仕組みを構築することで、互いに応援し評価しあえる環境づくりを推進します。また、まちづくりを担う新たな人材の発掘と育成を行うことで、誰でもまちづくりに気軽に参加できる機運醸成を促進します。

まちづくりを担う人材の発掘・育成の推進

拡充 小さなまちづくり応援補助金のリニューアル

小さなまちづくり応援補助金制度を、今までのプレゼン審査形式の部門を残しつつ、小さな額で様々な方に支援する部門を新設し、申請作業の簡素化を図ります。

5,000 千円
地域振興課
(概要書80P)

新規 ふるさと納税を活用したまちづくり活動の支援

ふるさと納税の活用目的に市民のまちづくり事業を個別に追加し、寄付額から諸経費等を除いた額の8割を補助金として団体等に支援する仕組みを構築します。

0 千円
地域振興課
(概要書80P)

地域のまちづくり活動の連携と創出促進

新規 市民のまちづくり活動拠点の整備

「ひだプラす」の事務局が常駐し、市民のまちづくり活動の相談やSNS等を活用したPR、資料のコピーやワーキングスペースの活用等の支援を行う拠点を整備します。

3,772 千円
地域振興課
(概要書81P)

新規 神岡のまちづくり拠点の整備支援

公募により旧深山邸を活用したい団体を募り、最も魅力的な提案をおこなった団体へ施設を貸し付けるとともに、水回り部分の改修経費の一部を市が負担します。

3,550 千円
神岡振興事務所
(概要書82P)

子ども達の生きる力を地域一体で育む学び豊かなまち

未知の課題に立ち向かい自ら解決することのできる子ども達を育むまちづくり

市内の保育園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校を一つの学園に見立てた一貫連携教育構想、「飛騨市学園構想」を推進し、一貫カリキュラムによる教育やコミュニティ・スクールの導入、ICTを活用した各校種間交流等の実施により、未知の課題に立ち向かい自ら解決することのできる課題解決型人材の育成を推進します。

飛騨市学園構想の推進

継続 飛騨市学園構想のカリキュラム本格実施

令和元年度に作成した課題解決型カリキュラムについて、プロジェクトマネージャーを配置し実際のカリキュラムと擦り合わせることで本格導入します。

3,955 千円
学校教育課
(概要書83P)

新規 地域学校協働本部の設置

地域住民のネットワーク（＝地域学校協働本部）と学校をコーディネートをする「地域学校協働活動推進員」を小学校区・中学校区に配置します。

1,147 千円
生涯学習課
(概要書83P)

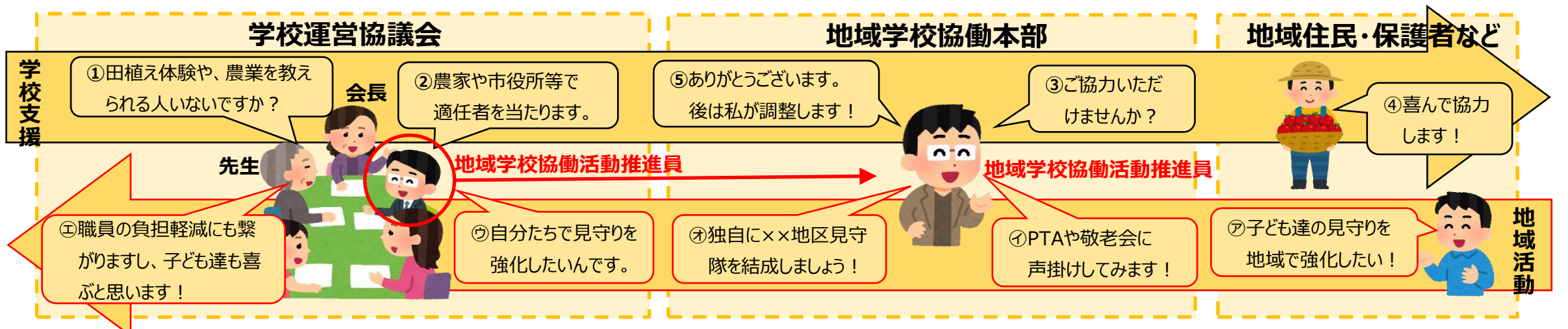
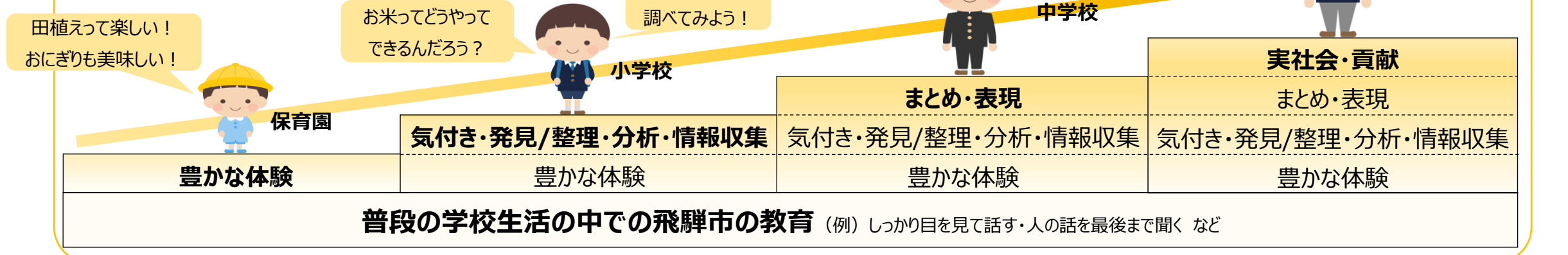
拡充 大学等との連携による課題解決能力育成の強化

課題解決能力育成のノウハウをもつ岐阜大学、大正大学等と協力体制を構築し、市内高校生徒への様々な助言や交流機会を提供します。

0 千円
地域振興課
(概要書84P)

《飛騨市学園構想カリキュラムのイメージ》

（例）飛騨の米についての探求



飛騨市ならではの教育と環境整備の推進

新規	ふるさと納税を活用した地元食材による「ありがとう給食の日」
ふるさと納税を活用し、地元食材を使ったメニューや季節のデザート等を提供することで、給食が学校に行く楽しみに繋がる「ありがとう給食の日」を実施します。	9,000 千円 教育総務課 (概要書85P)

継続	飛騨地鶏を使った学校給食によるふるさと食育
市内小中学校児童生徒を対象に、令和2年度は飛騨地鶏を使った食育授業を行うとともに飛騨地鶏メニューを給食で提供する「ふるさと学校給食」を実施します。	1,000 千円 教育総務課 (概要書85P)

新規	小学校への英語教育指導員の配置による英語教育の充実
教員等の指導力の向上を目的に「英語教育指導員」を配置し、教員等への指導助言や授業研修、示範授業の実施、ALTの有効活用等を支援します。	2,761 千円 学校教育課 (概要書86P)

拡充	児童生徒支援員の研修体制強化
児童生徒支援員の知識や資質向上のための全体研修に加えて、各学校に専門講師を派遣する回数を拡大し、各校の実情に合わせた研修を実施します。	834 千円 学校教育課 —

継続	ICTを効果的に活用した授業づくり
古川小学校への電子黒板の追加整備や、各中学校に3人に1台のタブレットPCの追加配備を行うとともに、令和元年度に導入したデジタル教材の更新を行います。	13,940 千円 学校教育課 (概要書88P)



新規	プログラミング教育環境の整備
プログラミング教材を整備し、新学習指導要領に対応した学習を進めるとともに、先進地視察や各種研修参加を通してプログラミング教育の核となる教員を育成します。	5,620 千円 学校教育課 (概要書87P)

継続	古川西小学校・河合小学校体育館の非構造部材耐震化
天井板の除去や照明器具の耐震化などが必要な市内6校の体育館について、令和2年度は、古川西小学校、河合小学校の整備をおこないます。	79,580 千円 教育総務課 (概要書89P)

部活動や学校外での活動支援の推進

拡充	中学校部活動の大会等出場支援の拡充
岐阜県大会以上のほか、遠征や各協会連盟が主催する大会等に出場する際の交通費や宿泊費の補助上限回数を増やし、安心して大会に臨める環境を整えます。	5,000 千円 学校教育課 —

継続	部活動指導員の配置
部活動が生徒にとって有用なものとなるよう、教員の多忙化を解消するための部活動指導員について、古川中学校2名、神岡中学校2名を継続して配置します。	1,622 千円 学校教育課 —

豊かな環境と個性ある地域資源を大切にする誇り高いまち

地域・文化資源を大切にし自慢できる仕組みづくり

当市にしかない地域資源を継承し存続させていく仕組みの構築と、新たな歴史資源等の掘り起こしを推進します。また、こうした地域資源の魅力を広く全国・世界に発信することで飛騨市の認知度向上を推進します。

新たな地域資源・歴史資源創出と掘り起こし・磨き上げの推進



新規	天生の森の木道等の整備ワークショップの開催
持続可能な森づくり推進のため、近自然工法による遊歩道の維持補修や、溪流における護岸整備についてワークショップを開催し、技術伝承の後継者を育成します。	651 千円 河合振興事務所 (概要書90P)

新規	天生の森の緊急避難道等安全対策の強化
令和元年7月に発生した遭難を教訓に、緊急避難道の整備や、わかりやすいサインシステムの設計等の安全対策を優先的に行います。	4,100 千円 河合振興事務所 (概要書90P)

新規	止利仏師伝説の伝承
止利仏師伝説と飛騨の匠をテーマとした「飛騨の匠展」の令和3年度開催に向けた検討委員会を立ち上げるとともに、語り部育成や子ども達への伝承を実施します。	1,242 千円 河合振興事務所 (概要書91P)

新規	江馬氏城館跡公園の活用検証イベントの開催	
江馬氏城館跡公園の利活用を調査するためのイベントを定期的に開催し、不便さや不具合の検証を行うことで、次年度以降の江馬氏館跡公園の活用に繋がります。	300 千円	文化振興課 (概要書92P)

新規	清流みやがわ鮎の知名度向上のための設備支援	
清流みやがわ鮎をふるさと納税の返礼品として全国に広めるため、宮川下流漁業協同組合と連携し、鮎を保管する機器の購入支援を行います。	207 千円	宮川振興事務所 (概要書93P)

新規	飛騨まんが王国声優バスツアーの開催	
大手声優事務所と連携し、市内のイベント開催時に合わせ、人気声優と一緒にイベントに参加したり市内散策を行い、飛騨まんが王国に宿泊するツアーを開催します。	242 千円	宮川振興事務所 (概要書94P)

新規	首都圏でのイベントによるRMTBのPR	
毎年 8 月に開催される「こども霞が関見学デー」にNPOと協働でレールマウンテンバイクガッタンゴーを出展し、廃線路を活用したアクティビティを広くPRします。	270 千円	神岡振興事務所 (概要書95P)

新規	山之村地区の未活用資源の発掘及びブランディング	
地域おこし協力隊の活用により、山之村地区未活用資源の発掘及び魅力の再発見と、活用による新商品の開発と販売活動を行います。	3,992 千円	神岡振興事務所 (概要書97P)

文化資源継承の推進

拡充	地域伝統芸能の保存継承のための支援	
地域固有の伝統芸能等の保存・継承のために活動している団体等に対し、これまでのイベント開催支援に加え、楽器や衣装等の購入に係る費用の一部を支援します。	1,500 千円	文化振興課 (概要書99P)

豊かな自然と水を守り後世に引き継ぐ仕組みづくり

下水道網の完備や環境に配慮したエネルギー産業の推進、ゴミの減量化などの取り組みを着実に実行することで、飛騨市の93%を占める豊かな森や、その森が生み出すミネラル豊富な水、そして水が育む動植物を大切に守り、後世に引き継ぐ仕組みの構築を推進します。
--

ゴミの減量化の推進

新規	エコイベントの開催	
リユースの推進を図るため、民間団体等と連携したエコフリーマーケットの開催等により、市民のリユース意識の向上と、ゴミ減量化の取り組みPRを行います。	198 千円	環境課 (概要書9P)

拡充	24時間資源回収ボックスの試験的な追加設置	
古川町及び神岡町での設置に加え、河合町及び宮川町においても資源回収ボックスを試験的に6ヶ月間設置し、利用状況を踏まえて常設化を検討します。	2,297 千円	環境課 (概要書9P)

自然・水資源を保全する取り組みの推進

新規	地域による不法投棄監視体制の強化	
不法投棄マップを作成し地域の現状を市民に周知することで、地域による不法投棄の監視意識を高め、市民との協働による不法投棄抑止を図ります。	95 千円	環境課 (概要書100P)



新規	宇宙物理学関連国際会議等の誘致	
宇宙物理学研究にかかる国際会議等を市内で開催する際の支援制度をつくり誘致を図ることで、飛騨市初の国際会議開催を目指します。	2,000 千円	神岡振興事務所 (概要書96P)

拡充	高野千本桜夢公園「追憶の庭」の遊歩道整備	
植樹や木育ワークショップのほか、公園の利便性向上のため遊歩道の整備を行うとともに、今後の中長期的な整備や活用に関するアクションプランの策定を支援します。	5,921 千円	林業振興課 (概要書98P)



様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち

都市部への訴求力が高い農林畜産業づくり

飛騨市産の安心安全で美味しい農畜産物に付加価値を付け、都市部等への差別化を重視した売り込み方を検討するとともに、地域の伝承作物を含めた安心安全な野菜の地域内循環を図り、あわせて商品を手に取りやすい環境整備を推進します。

飛騨米など農作物の高付加価値化による販路拡大の推進

新規 朝開農産物直売施設の移転新築にかかる設計	
朝開町農産物直売施設の老朽化に伴う道の駅アルプ	12,592 千円
飛騨古川への移転新築にかかるコンセプトの検討と測量	農業振興課
設計を行い、道の駅の活性化を目指します。	(概要書101P)

拡充 地元農産物の市内流通プラットフォームによる活用促進	
地元生産の農畜産物を、市内の旅館や飲食店で活用	200 千円
してもらうため、試食会の開催やメニュー開発等を行い、	農業振興課
地元食材の普及を促進します。	(概要書103P)

新規 水稻農家の後継者確保及び育成	
担い手農家と連携し水稻に特化した研修プログラムの確	380 千円
立を図るとともに、農業フェアへの出展等により米農家を	農業振興課
志す新規就農者（研究生）の確保に取り組みます。	(概要書105P)

新規 首都圏での飛騨市産米の販路拡大	
自家ブランド米の魅力アップと首都圏でのテストマーケティ	597 千円
ングを行うとともに、首都圏等の飛騨にゆかりのあるレスト	農業振興課
ラン等への飛騨米のPR活動を行います。	(概要書102P)

拡充 観光客に向けた飛騨野菜の収穫体験ツアーの開催	
これまでの飛騨地域の親子を対象としたツアーに加え、観	180 千円
光ツアー商品として親子連れをターゲットに開催し、飛騨	農業振興課
産野菜のP Rと観光コンテンツとしての定着を図ります。	(概要書104P)

新規 農業研修生に対する住居費の支援	
市外から移住された農業研修者に対し、既存の家賃助	360 千円
成制度に上乗せ支援を行うことで、就農に向けて充実し	農業振興課
た研修生活を送ることができる環境を整備します。	(概要書106P)

飛騨牛など畜産の生産体制強化と新たなブランド開発の推進

新規 家畜の特定疾病の清浄化に向けた取組	
5年での飛騨牛白血病ゼロ（白血病フリー）を目指	950 千円
し、繁殖農家が行う牛白血病の検査キットの導入及び	畜産振興課
検査手数料の一部を支援します。	(概要書107P)

新規 飛騨市家畜診療所の開設	
飛騨農業共済事務組合の解散に伴い、飛騨市家畜診	6,204 千円
療所をJAひだ古城営農センター内に設置し、新たな診	畜産振興課
療体制へのスムーズな移行を行います。	(概要書109P)

3補新規 産業動物獣医師の確保対策の推進	
市内の産業動物診療に従事しようとする獣医師に対し、	6,000 千円
生活等に必要な資金を無利子で貸付け、一定期間市	畜産振興課
内で従事した場合、返済を全額免除します。	(概要書111P)

新規 ひだキャトルステーションでの高校生短期研修の受入	
次期研修生の確保に向けた高校生の短期研修の受け	672 千円
入れや就農フェア等でのPRを行い、世界に誇る飛騨牛ブ	畜産振興課
ランドの未来を担う人材育成に取り組みます。	(概要書113P)

新規 ひだキャトルステーション研修生募集WEBサイトの開設	
市の総合的な就農サイトを構築し、あわせてひだキャトル	1,300 千円
ステーションの研修生募集WEBサイトを開設することで、	畜産振興課
市外へのP R強化を図ります。	(概要書113P)

新規 飛騨市産経産牛のブランド化支援	
一部の畜産農家で構成する「ひだ経産牛研究部」と連	265 千円
携し、市内のホテルや飲食店を対象とした試食会を開催	畜産振興課
するとともに、PR販促グッズ等を作成します。	(概要書108P)

拡充 飛騨地鶏の地域内活用のための試食会等の開催	
飲食店経営者らを招いた試食会の開催や、飛騨地鶏の	66 千円
P Rグッズを制作し、市有施設や取扱店舗等に掲出す	畜産振興課
ことで、一般認知度の向上を図ります。	(概要書110P)

新規 獣医大生インターンシップの受け入れ	
NOSAI夏季臨床実習制度等を活用し、全国の学生と	670 千円
のマッチングを図り、ひだキャトルステーションにおいて意欲	畜産振興課
ある獣医大生のインターンシップ受け入れを行います。	(概要書112P)



関係人口等との交流によるまちづくり

観光以外にも飛騨市に関心を持ち訪れていただける「関係人口」の増加を図り、地域づくりや産業振興のお手伝いにつなげるとともに、全国の様々な自治体や企業等との連携を強化し、相互交流による人づくりを推進します。また、移住促進や移住後の困り事に寄り添い生活の不安解消を図る取り組みを推進します。

関係人口との関係深化によるまちづくりの促進

新規 関係人口と「関わりしろ」を繋ぐ「関係案内所」の開設

「関わりしろ」と言われる地域資源や課題を吸い上げメ	1,521 千円
ニュー化し、Webをメインとして地域外人材とのマッチング	地域振興課
を行う「関係案内所」を開設します。	(概要書114P)

拡充 飛騨市の関係人口の調査と研究

『関係人口となるための要素』や、『関係性を深めるための要素』を引き続き研究し、市の研究成果として論文化して発信します。	1,290 千円
	地域振興課
	(概要書114P)

新規 飛騨市ファンクラブマイスタープログラムの実施

今まで以上に熱心な飛騨市ファン（ファンクラブマイスター）を養成し、より飛騨市の魅力をPRしていただくため、市内事業者等が講師となりプログラムを実施します。	103 千円
	地域振興課
	(概要書115P)

拡充 飛騨市ファンクラブ特産品購入支援の対象店舗拡充

飛騨市ファンクラブの特典として、市外でも会員特典が受けられる協力店舗や市外で市をPRする協力店舗の拡充を図り、新規会員の獲得を目指します。	431 千円
	地域振興課
	(概要書115P)



3 補拡充 ふるさと種蔵村やりたいこと計画のプラットフォーム整備

ふるさと種蔵村民と地域住民や種蔵を守り育む会等の思いをWEBを活用してマッチングさせる仕組みを本格稼働させ、マッチングメニューの掘り起こしを行います。	896 千円
	宮川振興事務所
	(概要書116P)

連携・提携等による交流の推進

新規 地域と大学との交流・連携の支援

市内を学生のフィールドワークの場として活用してもらい、地域活性化や市内就職を促進するため、市内での就職やインターンシップ、研究活動等を支援します。	800 千円
	地域振興課
	(概要書117P)

新規 台湾新港郷との相互交流ファンクラブの創設

飛騨市と新港郷の交流を促進するファンクラブを創設し、互いの活動を紹介するニュースレター等をやり取りするとともに、産業や文化面での新たな交流を模索します。	587 千円
	総合政策課
	(概要書118P)

新規 県内自治体との連携によるロケツーリズムの推進

令和元年度に県内複数の自治体によって設立した「ぎふロケツーリズム協議会」により、セミナーや先進地視察、制作者との商談会等を実施します。	100 千円
	観光課
	(概要書119P)

継続 「姉妹森」協定に基づく自治体連携の推進

広葉樹活用に関する先進的な取り組みを実施する岩手県岩泉町と新たに「姉妹森」協定を締結するための協議・調整を行うとともに、関係者の相互交流を図ります。	1,834 千円
	林業振興課
	(概要書120P)



移住・定住の促進

新規 田舎暮らし情報誌を活用したPR

田舎で暮らすためのノウハウを紹介する情報誌に、取材記事とともに空き家物件情報を掲載し、移住を検討されている方への情報発信、アプローチ強化を図ります。	1,500 千円
	地域振興課
	(概要書121P)

拡充 移住コンシェルジュの神岡地区への配置

移住検討者や移住者の相談相手・アドバイザーとなる移住コンシェルジュを新たに神岡町地域に1名増員します。（令和元年度：古川町地域3名）	668 千円
	地域振興課
	(概要書121P)

思い出に残る観光地づくり

飛騨市が持っている魅力をブラッシュアップし効果的に発信することで、他の観光地との差別化を図るとともに、訪日外国人を含む観光客の体験消費（コト消費）の拡大を目的として、体験型コンテンツの増加と市場拡大を促進し、誰もが行ってみたいくなる観光地づくりを推進します。

観光客のニーズに合わせた受入環境整備の推進

新規	コンベンション利用施設のWi-Fi環境の整備		
会議系のコンベンション誘致を推進するため、利用が想定される飛騨市文化交流センター等にWi-Fi利用環境を整備し、プレゼン発表等での活用を促進します。	974 千円 管財課 (概要書122P)		
新規	池ヶ原湿原の休憩スペースの設置		
来場者の滞在時間延長を図るため、来場者に「見る」だけでなく、「旬のものを食べる」楽しみも満喫していただけるよう、簡易な休憩スペースを設置します。	394 千円 宮川振興事務所 (概要書124P)		
拡充	店舗リニューアル補助制度の補助率拡大		
市が認める宿泊業（ホテル・旅館、簡易宿所）については補助率を1/3から1/2に引上げ、魅力ある宿泊施設への改装を促進します。 (予算額は「商工業活性化包括支援事業」の総額です)	(20,000 千円) 商工課 (概要書125P)		
拡充	飛騨市総合パンフレットのリニューアル		
デジタル版総合パンフレットを製作し、情報の更新頻度を高めるとともに紙媒体の配布資料のQRコードなどから誘導し、旬の飛騨市が伝わるパンフレットを作成します。	5,500 千円 観光課 (概要書127P)		
新規	神岡地区の魅力あるまちづくり基本計画の策定		
今後の神岡のまちづくりについて「神岡の街づくりを考える会」からいただいた提言をもとに、ランドデザインを市民と一緒に描き、令和3年度からの整備等に繋がります。	326 千円 神岡振興事務所 (概要書129P)		
拡充	飛騨市観光Wi-Fiのエリア拡張		
飛騨市を訪れる観光客の南の玄関口である道の駅アルプ飛騨古川に新たにWi-Fi環境を整備し、観光客の利便性向上を図ります。	610 千円 管財課 (概要書123P)		
継続	高齢者や障がいのある方、子育て世代に配慮したトイレの整備		
トイレの洋式化等を最重点課題と位置付け、味処古川、ナチュールみやがわ、森林公園キャンプ場のトイレについて、洋式化やウォシュレット化等の整備を実施します。	3,600 千円 観光課・スポーツ振興課 —		
新規	英語版飛騨市観光Webサイトのリニューアル		
観光サイト「飛騨の旅」英語版の全面リニューアルを行い、併せて、外国人ライターによる食やイベント等の記事を投稿し、外国人目線で魅力的な情報を発信します。	6,600 千円 観光課 (概要書126P)		
新規	飛騨市観光戦略プランの策定		
観光客のニーズの多様化及びインバウンド観光客の増加などを踏まえ、交流人口拡大・域内消費の増加を目的とした実効性のある観光戦略を策定します。	124 千円 観光課 (概要書128P)		

ヒト・モノ・コトを楽しむ新たな観光コンテンツの開拓推進

新規	飛騨古川まつり会館を活用した企画展等の開催		
展示装飾リニューアルを実施した古川まつり会館を起点とした集客対策として、古川まつり会館において期間限定の企画展を随時実施します。	4,500 千円 観光課 (概要書130P)		
新規	古川まつり広場を活用した定期イベントの試験実施		
古川まつり広場の活用をテーマに、手軽に出店等ができるよう電源設備を整備し、月1回のマルシェ等を試験的に夏期～秋期にかけて実施します。	6,000 千円 観光課 (概要書131P)		
拡充	飛騨市観光大使との連携による市の魅力PR		
発信力のある観光大使を古川祭や三寺まいりなどのイベント等に招聘し、市民との交流等をSNSで発信するとともに、パンフ等のモデルでの活用を行います。	540 千円 観光課 (概要書132P)		

「飛騨古川まつり会館」のリニューアルオープン

平成30年度から整備を進めてきました「飛騨古川まつり会館」が、令和2年4月11日（土）にいよいよリニューアルオープンいたします。
この飛騨古川まつり会館は、祭りに参加する人、支える人、見守る人、飛騨古川で生活する人々の視点から作り上げられた体験型施設です。
今回のリニューアルでは、「息遣いが聴こえるまつり会館」をコンセプトに、古川祭当日以外の平時でも祭り当日の『空気感』が体感できるような展示装飾、訪れるお客様に古川祭の魅力を訴求できる施設として蘇ります。

【オープニングセレモニー】

日程：令和2年4月11日（土）



変革への挑戦を続け、新しい価値を創造するたくましいまち

地域資源を活かした産業づくり

当市面積の93%を占める森林のうち、その約70%を占める豊富な地域資源である広葉樹をブランディングし、新たな産業として確立するほか、薬草やえごまなど当市の特徴のある地域資源から新たな産業を生み出します。

広葉樹を活用した産業・まちづくりの推進

新規 行政書士と連携した森林所有者の特定	
森林整備の最優先課題である所有者不明森林の解消を図るため、県行政書士会と連携して森林所有者の特定を行います。	1,000 千円 林業振興課 (概要書133P)

新規 森林経営管理法に基づく民有林のモデル整備	
森林経営管理法に基づき、市の実情に合った森林整備を推進するためのモデル地区を選定し、広葉樹天然林も含めた森林の一体的な試験整備を行います。	6,740 千円 林業振興課 (概要書134P)

拡充 広葉樹の小規模森林整備の促進	
森林経営計画を策定できない小規模な森林整備を推進するため、市内において小規模天然林施業のモデル事業を実施します。	400 千円 林業振興課 (概要書135P)

新規 森林文化アカデミーと連携した林業・木工技術者の確保と育成	
市内における林業の担い手確保を推進するため、岐阜県立森林文化アカデミーと連携し、在学生を対象とした市独自の修学資金貸付制度を創設します。	3,761 千円 林業振興課 (概要書136P)

新規 広葉樹活用コンシェルジュの配置	
地域おこし協力隊を配置し、小径広葉樹原木の調達及び用材（製材）の販路開拓、木工作家等の実需者とのマッチングを推進します。	3,992 千円 林業振興課 (概要書138P)

新規 小径木広葉樹による高付加価値商品の開発推進	
小径広葉樹材の価値向上に資する木材乾燥技術や、新商品開発に必要な試験研究を実施し、燃料用チップなどより高価格で販売できる新商品を開発します。	5,100 千円 林業振興課 (概要書139P)

新規 飛騨市広葉樹のまちづくりPRツールの制作	
これまでの取り組みや実績、今後目指す広葉樹のまちづくりのコンセプトを関係者等へのヒアリングを中心に整理し、分かりやすく伝えることができるツールを制作します。	5,187 千円 林業振興課 (概要書141P)



新規 飛騨市広葉樹林を活用した林業技術者の育成	
広葉樹施業・活用のノウハウを有した人材を育成するため、岐阜県立森林文化アカデミーと連携し、市内研修林において年間を通じた研修を実施します。	4,688 千円 林業振興課 (概要書137P)

新規 （仮称）飛騨市広葉樹活用推進コンソーシアムの設立	
素材生産者から木工作家等までの関係者と市が、相互協力の下で小径広葉樹材の価値向上に資する新たな流通の仕組みづくりを目指す新組織を設立します。	1,940 千円 林業振興課 (概要書138P)

新規 飛騨市広葉樹のまちづくりツアーの実施	
広葉樹の活用に興味・関心を持ち、様々な連携ができる仲間を全国に増やすため、市内製材所や森林施業現場等を見学するツアーを実施します。	600 千円 林業振興課 (概要書140P)

継続 広葉樹のまちづくりの普及・推進	
広葉樹のまちづくり円卓会議での協議・検討を核とし、セミナーの開催や先進地への訪問などにより有識者や実践者などと交流し、広葉樹のまちづくり実現を目指します。	2,908 千円 林業振興課 (概要書142P)

薬草やえごまを活用した産業・まちづくりの推進

新規 薬草を活用した料理の飲食店等への普及推進	
薬草料理の試作に係る材料費を支援し、メニュー常設化を促進するとともに、常設で薬草料理を提供する店舗に対し、表示プレートを配布します。	250 千円 地域振興課 (概要書143P)

拡充 飛騨えごまの里づくりの推進	
卓上メニュー表（三角ポップ等）を作成し、市内飲食店に配布するとともに、飲食店従業員等がえごまの魅力や調理法などを紹介できるよう、勉強会等を開催します。	300 千円 商工課 (概要書144P)



新たな事業・商品・サービスを創造する事業者の応援

これまでの常識にとらわれず、また、時代の潮流を捉えた新しい事業や商品、サービスの創造に挑戦する事業者を応援し、新技術の積極的な導入による経営拡大を支援するとともに、都市部や海外など、域外の新たなマーケットに訴求し売り出す仕組みづくりを推進します。

新たなマーケット開拓の推進

新規 特色ある製品・サービス等の知的財産権の取得支援

販路拡大の有効的なツールとして活用するため、事業者等の特許権、実用新案権、意匠権、商標権もしくは地理的表示保護登録に係る費用の一部を助成します。	(20,000 千円) 商工課 (概要書125P) (予算額は「商工業活性化包括支援事業」の総額です)
--	--

継続 モノづくり事業者の育成と販路拡大の支援

作り手の思いを伝えるための商品のブラッシュアップや新たな商品開発支援を継続するとともに、首都圏での実証販売等を通して参加事業者の育成を図ります。	3,850 千円 商工課 (概要書145P)
--	------------------------------

継続 伴走型支援によるネットショップ人材の育成

販売計画や進捗管理、顧客の心をつかむ販売方法を学ぶセミナーやwebサイトの操作方法を学ぶ相談支援を継続するとともに、ショッピングサイト出店料を支援します。	3,242 千円 商工課 (概要書146P)
---	------------------------------



新たな革新技术の活用による経営拡大の推進

拡充 飛騨市推奨特産品の認知度向上と販売促進

土産物売り場等に推奨特産品の特設コーナーを設置し、訪れた観光客などに手に取っていただけるよう、のぼり旗や表示スタンド等を整備します。	729 千円 商工課 (概要書147P)
--	----------------------------

拡充 小規模事業者の事業継続支援

事業継続力強化計画をその場で作成できる実践的なセミナーを開催するとともに、受講者が行う減災・防災設備の導入に対する信用保証料を全額補給します。	150 千円 商工課 (概要書148P)
---	----------------------------

自ら起業する人の支援と仕事づくり

起業を検討されている方がチャレンジしやすい環境を整備するなど、受入環境の充実を図るとともに、事業を起こされた方々に対しては、地域からの仕事を供給するなど、地域全体で応援する体制づくりを推進します。

新たな起業者の育成と受入環境整備の推進

継続 起業をされる方への店舗整備費等の支援

市内における空き店舗の流動化を促進し、起業の支援を図るために、空き店舗所有者等が当該空き店舗の改修を行う費用の一部を助成します。	(20,000 千円) 商工課 (概要書125P) (予算額は「商工業活性化包括支援事業」の総額です)
--	--

継続 地域おこし協力隊の定住・起業支援

活動を終える地域おこし協力隊が、新たに起業、または引き続き定住しようとする際にかかる費用の一部を支援することで、地域おこし協力隊の定住を支援します。	300 千円 地域振興課 —
--	----------------------

誰もが働きやすく、活躍できる元気なまち

多様な人材が活躍する産業の支援

企業の情報発信力の強化や意識改革を図り、外国人材を含む域外からの人材獲得を更に促進するとともに、障がいのある方、高齢者や子育て世代の女性など、あらゆる方々が自分にあった働き方ができるよう、受入企業や労働者の生活等を支援します。

外国人材の更なる活用の推進

新規 外国人材活用を検討している事業者等の意見交換会の開催

外国人材の採用に関するノウハウや情報を共有するため、採用している事業所と今後採用したいと考えている事業所の人事担当者等の意見交換会を開催します。	0 千円 商工課 (概要書149P)
--	--------------------------

誰もが働きやすい環境整備の推進

拡充 インターンシップ受入支援の拡大

インターンシップ支援事業補助金の対象範囲を、学生のみから、高校生や一般求職者まで拡大し、新たにマッチングサイト等の活用に係る費用についても支援します。	500 千円 商工課 (概要書150P)
---	----------------------------

継続 全国からの複業・兼業の受入支援

兼業・複業など新しい働き方を希望する方々と市の主要事業をマッチングし、多様な人材の知見等を政策に活かすとともに、企業への横展開を検討します。	1,240 千円 地域振興課 —
--	------------------------

継続 女性・高齢者・障がい者の社会進出促進

女性や高齢者及び障がいのある方が安心して働けるよう、事業者が行う設備改修や研修等、職場環境の整備にかかる費用の一部を支援します。	1,000 千円 商工課 —
--	----------------------

事業者等の情報発信力強化の推進

継続 企業の魅力的な情報発信による人材確保力の強化

市内企業の魅力的な情報発信や、親世代を対象とした子どもの地元就職、インターンシップの活用による人材確保など、様々なセミナーを実施します。	1,738 千円 商工課 —
--	----------------------

少人数でも持続可能な産業の支援

商業や農林畜産業、医療や介護など様々な分野におけるICT等の活用による省力化の支援を充実します。また、新たな担い手の確保と育成支援の充実を図る一方で、少人数、小規模で最大限の効果を生み出せる産業への転換を促進します。

効率的な事業経営の推進

新規 次世代の農業課題の調査研究

人手不足などに対する共同による省力化や、就農者の冬の仕事など、人口減少に起因する様々な課題の調査・研究を行います。	217 千円 農業振興課 (概要書105P)
---	------------------------------

新規 地元産良質堆肥の散布支援

高品質な堆肥の循環を促進するため、農家の要請により古城コンボが実施する堆肥散布作業に対し、作業に要した人件費や機械輸送費の一部を支援します。	565 千円 畜産振興課 (概要書151P)
--	------------------------------

継続 古川町是重地区の県営土地改良整備事業

面的集約を促進し、高生産性農業及び経営安定を図ることを目的に、令和2年度は、ほ場整備の実施に係る測量と換地業務に着手します。	4,550 千円 建設課 (概要書152P) (予算額は「土地改良事業」の一部です)
--	---



新技術の導入による省力化の推進

新規 スマート農業を導入する担い手農家の支援

実証実験を行った水稻作付に関する水温等データ管理や、ドローンによる防除作業、ハウス環境の遠隔管理・監視など、農業機器・機械等の導入を支援します。	1,401 千円 農業振興課 (概要書153P)
--	--------------------------------

新規 様々な分野におけるドローン活用の推進

ドローン活用を推進するため、リーダーとなる地域おこし協力隊を登用し、国推奨の操縦技能講習の受講を支援するほか、常時活用するドローンを購入します。	4,302 千円 地域振興課 (概要書155P)
--	--------------------------------

新規 牛行動管理システムの導入支援

反芻・動態・横臥・起立など、牛の主要な行動を記録することで、AIが牛の異変を検知し、スマートフォンに通知するシステムの導入を支援します。	1,775 千円 畜産振興課 (概要書154P)
--	--------------------------------

新規 ドローン操縦技能講習の受講支援

ドローンに慣れ親しんでいただき、安全なドローン活用を推進するため、市民や企業等が基礎的な操縦技能講習を受講する際の費用の一部を支援します。	500 千円 地域振興課 (概要書155P)
---	------------------------------

令和2年2月

飛驒市役所 企画部 総合政策課

☎ 0577-73-6558 (ダイヤル)

✉ sougouseisaku@city.hida.gifu.jp



H I D A C I T Y

飛 驒 市